

企業ヒアリング等の調査結果について

1 調査の目的

L R Tの利用が確実に見込まれる利用者数（最低限の需要）を把握し，事業採算性を検証するため，清原工業団地の企業や計画区間沿線の大学等へのヒアリング調査，及びJ R宇都宮駅から東部地域方面へ運行している通勤・通学バスの運行状況や沿線施設への来場者数について調査を実施

2 調査の概要

(1) ヒアリング調査

清原工業団地内の立地企業と計画区間沿線の大学等の人事管理部門の担当管理職に8月以降，実施

ア 実施企業

清原工業団地内の全37の企業のうち，従業員数250人以上の11企業

（企業従業員8,521人。工業団地内全従業員11,313人の75パーセントをカバー）

イ 実施大学等

1大学1短大（学生数1,200人），1県立高校（生徒数700人）

ウ ヒアリング項目

通勤・通学時の交通手段，従業員等の居住地，通勤・通学バスの利用者数，L R Tの利用見込，企業への来訪者数など

(2) 通勤バスの運行状況調査

J R宇都宮駅から東部地域方面に向かう通勤バスの運行状況調査を5月及び11月に実施

(3) 沿線施設への来場者調査

沿線商業施設（ベルモール）への来場者数及び平成24年度における清原球場，県グリーンスタジアムへの主な来場者数について照会調査を実施

3 調査結果

調査項目	調査対象	調査結果
通勤バス利用者	3社（通勤）	1,934人/日
通学バス利用者	1大学1短大（通学）	500人/日
自家用車等からの 転換見込み	10社	147人/日（4,020人） （自家用車等通勤者の3.6%）
企業への来訪者	11社	549人/日
通学時の利用見込み	1県立高校	80人/日
沿線施設への来場者	ベルモール	平日平均2.5万人/日，休日平均5万人/日
	グリーンスタジアム	栃木SC年間21試合平均 3,850人/日
	清原球場	プロ野球公式戦（1試合）17,412人

4 最低限の需要見込み

《前提条件》

- ① 通勤・通学バス利用者は、LRTへ100パーセントの転換を想定。
 - ② 自家用車等通勤者からの転換率については、ヒアリング結果に基づき、3.6パーセントと設定。
 - ③ 企業への来訪者はLRTへ50パーセントの転換を想定。
 - ④ ベルモールへの来場者の2パーセントがLRTを利用すると想定。
 - ⑤ グリーンスタジアム、清原球場への来場者の10パーセントがLRTを利用すると想定。
- ※ 前提条件については、今後の調査結果によって変更がありえる。

(1) 通勤・通学需要

目的・転換前手段		1日当たり (人/日)	備 考
通 勤	通勤バス	1,934人/日	・ヒアリング調査, シャトルバス運行状況調査 宇都宮：830人 芳 賀：1,104人
	自家用車等	1,067人/日	・ヒアリング調査, シャトルバス運行状況調査 宇都宮：(11,313人-830人)×3.6% 芳 賀：(20,273人-1,104人)×3.6%
企業への来訪者		274人/日	・ヒアリング調査 宇都宮：549×50%
通 学	通学バス	500人/日	・ヒアリング調査
	公共交通等	80人/日	・ヒアリング調査
合 計		3,855人/日 (往復7,710人/日)	

(2) 沿線施設への来場者需要

商業施設等名	1年当たり (人/年)	備 考
ベルモール	242,000人/年	平日2.5万人, 休日5万人, 利用率2%
グリーンスタジアム	8,085人/年	平均3,850人×21試合×10%
清原球場	1,741人/年	17,412人×1試合×10%
合 計	251,826人/年 (往復503,652人/年)	(1日当たり往復 1,379人/日)

5 収入見込み

《前提条件》

- ① 清原以東への通勤・通学者の運賃は片道400円（通勤割引40パーセント、通学割引50パーセント）で試算。
- ② ベルモールへは片道150円、清原球場等へは子供の需要を加味して片道340円で試算。

(1) 年間収入

	収入	計算経過
通勤者等	580百万円	通勤者 3,001人×400円×60%×1往復×365日 来訪者 274人×400円×1往復×246日
通学者	85百万円	580人×400円×50%×1往復×365日
沿線施設来場者	79百万円	(242,000人×150円×1往復) + ((8,085人 + 1,741人) × 340円×1往復)
沿線地区事業所従業者	今後調査予定	参考：ベルモール従業者 約2,000人
沿線地区住民	今後調査予定	参考：清原・平石地区住民 約56,000人
沿線の大学高校等学生	今後調査予定	参考：宇都宮大学工学部学生 約2,000人
合計	744百万円 + α	

※ 自家用車等からの転換率に応じた収入額

自家用車等からの転換率	収入
0.0%	557百万円 + α
3.6%	744百万円 + α
7.2%	931百万円 + α
10.8%	1,117百万円 + α

- ⇒
- ・ 今回の企業ヒアリング等の調査により、確実な需要見込みが一定程度確認された。
 - ・ 今後は、従業者アンケート調査の実施などにより、需要見込みの精度を高めていくとともに、運行経費について、芳賀工業団地への延伸などを踏まえ、再度積算する。

(参考)

- ※ JR宇都宮駅東側の年間運行経費 638百万円
(JR宇都宮駅東口～宇都宮テクノポリスセンター地区 約12キロメートル)

項目	経費
人件費	429.2 百万円
運行費	101.4 百万円
その他	107.1 百万円
合計	637.7 百万円

(LRT事業課題検討調査(平成21年12月)において試算)

- ※ 他軌道事業者の年間運行経費
- | | | | |
|----------|------------|----------|-----------------|
| 福井鉄道 | 21.4キロメートル | 単線(一部複線) | 519百万円(平成24年実績) |
| 富山ライトレール | 7.6キロメートル | 単線 | 372百万円(平成24年実績) |